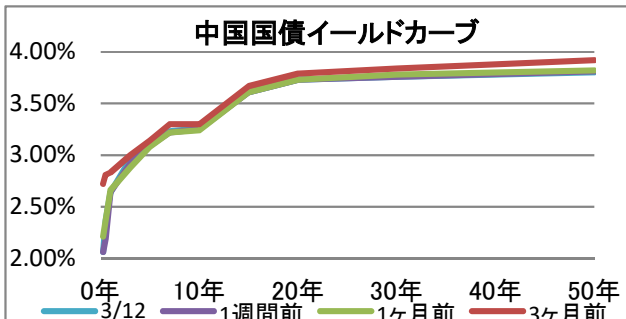
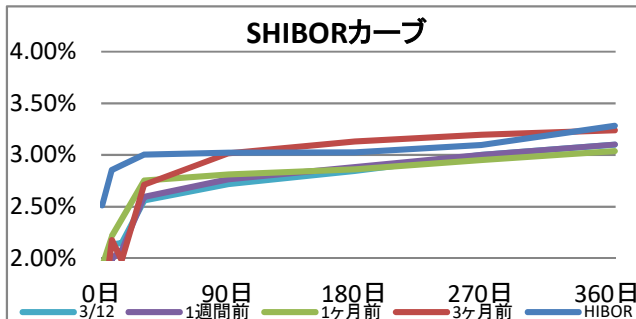


①市場概況

| 基準レート | | 2021/3/12 | (前週末比) |
|--------|---------|-----------|----------|
| 人民元基準値 | USD/CNY | 6.4845 | -0.0059 |
| | JPY/CNY | 5.9754 | -0.0360 |
| SHIBOR | 3M | 2.7190% | -0.0470% |
| 国債利回り | 10年 | 3.26% | +0.01% |
| 上海総合指数 | | 3,453.08 | -48.91 |



(1) 概況

新型ウィルスワクチン接種が世界規模で一段と進展し、米国で大型経済対策が成立したこと等から、世界的な景気回復期待から株式市場が底堅く推移する一方で債券利回りの上昇が続き、底堅く推移していたドルも再度リスクオンに転じてやや下げる展開となった。そのような中、中国金融市場は、全人代において金融政策面ではリスクに配慮した穏健かつ持続性を重視する政策方針が示されたことに安堵する一方で、質を重視した安定経済成長を目指す姿勢が強調されたことから、これまで一人勝ちの状況にあった中国の相対的な優位性の低下を意識した株式市場は一時急落し、外為市場でも人民元の下落傾向が続いている。

中国人民銀行上海本部は、金融機関に対する住宅市場に資金が流入する融資について厳格な審査を求めることを含む政策方針を公表している。

(2) 金融調節

500億元に対し、新規リバースオペ500億元を実施し、中立的な調整姿勢を継続している。

(3) 主な経済指標

・CPI (2月) は、前年比-0.2% (1月同-0.3%) と、食肉価格が大幅に下落した食品価格が低下に転じ、生活用品等を含む非食品価格は低下が続いている。

・PPI (2月) は、前年比+1.7% (1月同+0.3%) と、新型ウィルス感染拡大に伴う価格下落が始まっていた前年比では2年ぶりの大幅上昇となったものの、前月比では+0.8% (1月同+1.0%) と低水準での横ばい推移となっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

| | SHIBOR | 無担保資金 | レポ | NCD AAA |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| ON | 1.7870% | 1.8000% | 1.8000% | |
| 1W | 2.1340% | 3.0000% | 1.7500% | 1.7500% |
| 2W | 2.1510% | 2.1000% | 2.1500% | 1.8400% |
| 1M | 2.5630% | 3.8000% | 2.6500% | 2.5000% |
| 3M | 2.7190% | 3.7700% | 7.0000% | 2.6100% |
| 6M | 2.8480% | 3.5000% | | 2.8000% |
| 9M | 3.0000% | 3.6500% | | 2.9800% |
| 12M | 3.1010% | 3.7800% | | 3.1300% |

全人代開催期間中であることや中国人民銀行が前週同様に連日100億元の供給を続ける中立姿勢を維持したこともあって、四半期末が近づきつつあるものの市場に混乱は見られず安定している。ターム物は四半期末を控えていることもあり1ヶ月の2.60%前後の出合いを除き限定的となっている。

NCDも、月内の金利水準が引き続き低位で推移する一方、ターム物の金利水準は高止まりの状況が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.45%前後、3ヶ月物が2.6%台、6ヶ月が2.80%前後、1年が3.13%前後での出合いが続いている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

| | BID | OFFER |
|-----|-------|-------|
| ON | 0.01% | 0.02% |
| 1W | 0.02% | 0.03% |
| 1M | 0.12% | 0.15% |
| 3M | 0.30% | 0.35% |
| 6M | 0.45% | 0.50% |
| 12M | 0.65% | 0.70% |

資金需給状況に変化はなく、金利水準もおおむね横ばいでの推移が続いており、ターム物の金利水準は1ヶ月が0.1%台前半、3ヶ月も0.30%前後での取引が続いている。

③人民元債券市場

| | 国債 | 地方債AAA | 金融債AAA | 社債AAA | 社債AA |
|-----|-------|--------|--------|-------|-------|
| 3M | 2.06% | 2.12% | 2.64% | 2.80% | 3.43% |
| 6M | 2.37% | 2.38% | 2.80% | 2.95% | 3.58% |
| 1Y | 2.64% | 2.67% | 3.02% | 3.09% | 3.72% |
| 3Y | 2.96% | 3.06% | 3.41% | 3.56% | 4.19% |
| 5Y | 3.10% | 3.27% | 3.62% | 3.81% | 4.52% |
| 10Y | 3.26% | 3.53% | 3.92% | 4.10% | 4.81% |

債券市場では、中国経済成長への過度な期待が剥落する一方で、国内の債券需給悪化懸念や世界的な債券利回りの上昇から、狭いレンジ内での取引が続いている。

イールドカーブに大きな変動は無く、クレジットスプレッドは国債利回りが下げ渋る中で信用債利回りが小幅ながら低下したことから縮小傾向が続いている。

④先物為替市場

| | USD / CNY |
|-----|-----------------|
| 1W | 36.3 / 36.9 |
| 1M | 167.1 / 169.0 |
| 3M | 469.0 / 472.0 |
| 6M | 900.0 / 904.0 |
| 9M | 1324.0 / 1350.0 |
| 12M | 1749.0 / 1754.0 |

対ドル基準レートは、6.4845と前週末比-59pipsのドル安元高、対円基準レートは5.9754と同-360pipsの円安元高と、週半ばには対ドルで6.53台まで上昇していたものの、その後ほぼ前週末水準まで戻している。米国債利回りの上昇を主因に人民元高期待の修正に関する意見も増えてきており、四半期末でもある3月末に向けて実需のドル買い需要等からも当面は底堅く推移すると予想される。

先物は、ドル、人民元ともに金利水準に大きな変化はないものの、人民元高期待の修正に伴うドル買い需要を映じて、スワップ幅がじりじりと拡大する状況となっている。

⑤金利スワップ

| | Quarterly 7d Repo A/365 | Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360 | Annually O-N SHIBOR A/365 A/360 |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 3M | 2.47% | | 2.15% |
| 6M | 2.56% | 2.88% | 2.19% |
| 9M | 2.61% | 2.97% | 2.28% |
| 1Y | 2.65% | 3.07% | 2.32% |
| 3Y | 2.87% | 3.41% | 2.45% |
| 5Y | 3.05% | 3.61% | |
| 7Y | 3.18% | 3.76% | |
| 10Y | 3.34% | 3.93% | |

債券利回りに概ね変動がなかったことから、スワップ金利も大きな変化はなく小幅に上昇しているのみ。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドにも概ね変化はなかった。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。